

新宮山彦ぐるーぷ第2086回

上葛川から奥駈道（29番鉄塔）までの調査

◇実施日：2020年7月2日（木）晴

◇参加者：山川治雄、梶野照雄、

2名

香精山と四阿の宿間の靡看板設置に、上葛川からの旧通信道を使おうという計画が持ち上がった。しばらく歩いていない区間なので、事前調査のため現状の確認に向かった。

朝8時35分、上葛川に着いて山川さんの到着を待つ。9時5分前に山川さんが到着し、登山口に移動した。



上葛川登山口



崩れた所に橋が



水源の滝

準備を整え出発、昨日の雨が嘘のような青空が広がって、爽やかなお天気になった。下の方から聞こえる葛川の流れる音は相当多いようで、水音がずっと聞こえ続けていた。途中の沢も水の流れる音が多く、靴を濡らさないように慎重に通過した。



送電線巡視路の分岐

上の方に倒木が見える

奥駈道29番鉄塔

一時間45分で電源開発の標識が立てられた場所に到着。ロープが張り残っているのが大変判りやすい。ロープの先に続く踏み跡は、はつきりと残っていて、立ち木にはオレンジ色のテープが随所に付けられていた。奥駈道に至るほぼ中間地点に杉の倒木2本が道を塞いでいた。何とか跨いで通過することが出来るが、下方を迂回して通過が可能かを調べた。倒木の根は下にあり、そのすぐ下側を通過できるが、本来の登山道に登り返すの一苦労。土が柔らかく、杉の枝が多数あって登り返すのに5分以上費やした。ここは倒木をまたいで通過するのが現状ではベストだ。

余計な登り返しで25分かかって奥駈道、29番鉄塔の広場に到着

た。ここにもテープが付けられていたが、黄色のテープを追加した。少し香精山の方向に移動、送電線の下の木陰で昼食にした。この付近の立木にはテープが付けられ、行仙の送電線工事の時と同じように伐採が行われるようだ。昼食を食べ終わって、山川さんが私の足元にヒルを見つけた。スパッツを外して靴を脱いでみると、左足に2ヶ所、右足に1ヶ所、昼に血を吸われた跡が見つかった。ヒルは1cm位の小さなものだったので大きな傷ではなかったが、一ヶ所は帰宅後も出血が続いていた。

昼食休憩の後、同じ道を引き返した。

上葛川から奥駈道、29番鉄塔まで、登りは2時間10分弱、下りは1時間半ほどだった。



旧通信道の要注意箇所

旧通信道にヒルが多いことは判っていたが、スパッツだけではヒルの侵入を防げないことを身に染みて知った。

上葛川集落の水源となっている三つ目の滝を過ぎる辺りまで、荒

れたところは殆ど無いが、それより上部は木橋の腐食や道の崩落で通過に慎重さを求められるところが最低3カ所ある。また、渡渉が必要な沢では苔付きの岩も多く滑りやすい箇所もある。



旧通信道の要注意箇所

本日の参加者

本日のルート

3月に志岐さんと二人で21世紀の森から東屋岳までの倒木処理を行ったが、この時は香精山まで3時間だった。倒木の数が多かったので、作業時間をマイナスすると約2時間半となる。上葛川からでも香精山までは2時間半弱なので、ヒルの多い夏の時期にこのコースを多人数で歩くことはあまりお勧めではない。

(記：梶野)

行動タイム

上葛川 8:10 → 10:48 電源開発巡視路分岐 → 11:08 奥駈道、29番鉄塔 → 11:35 送電線下 12:25 → 12:32 奥駈道、29番鉄塔 → 14:15 上葛川

